

日中関係学会・関東支部 11月研究会

## 世界的コロナ禍での米中関係と中国経済

講師：陸挺 野村証券中国地区チーフエコノミスト・董事総経理

香港中国金融協会副主席、北京市 CFA 協会理事

日中関係学会（会長・宮本雄二元駐中国大使）は2020年11月26日（木）に研究会を開催します。今回は、野村証券中国地区チーフエコノミスト董事総経理の陸挺氏に「世界的コロナ禍での米中関係と中国経済」と題して講演をして頂きます。

新型コロナ感染が世界で依然として蔓延する中、中国はいち早くコロナを抑制し、経済をV字回復させました。その要因は何か。一方でコロナによる問題も露呈し、特に米中関係は急速に悪化しました。アメリカの対中政策が今後の中国経済に対して与える影響は。それらに対する中国の新たな経済モデル、米大統領選後の米中関係が中国経済に与える影響等について分析頂き、参加者と共に議論しながら考えていきます。お誘いあわせの上、是非ご参加ください。非会員の方も歓迎します。

<講師紹介> 陸挺氏 野村証券中国地区チーフエコノミスト・董事総経理



香港中国金融協会副主席、北京市 CFA 協会理事

（略歴）北京大学経済学部卒、北京大学経済学修士、

アメリカ UC バークレー経済学博士

メリルリンチ証券大中華圏チーフエコノミスト・董事総経理、

中国華泰証券研究所所長・チーフエコノミスト・董事、総経理を歴任し2018年5月から現職。

（受賞歴）2010年、2011年、2年連続でブルームバーグ通信社「予測が最も的確である中国エコノミスト」選出。2013年から2015年、3年連続で Institutional Investors 機関投資家雑誌「アジア地域エコノミスト第一位」選出

日時：2020年11月26日（木） 18:00～20:00

場所：オンライン開催（Zoom ミーティング形式）

参加者には、順次 Zoom 研究会のリンク先をご案内いたします。

\* ご参加には Zoom（無料版ないし有料版）の登録が必要です。

定員：会員 50 名、非会員 35 名（共に先着順）

参加費：会員 無料

非会員 1,000 円、 学生非会員は 500 円